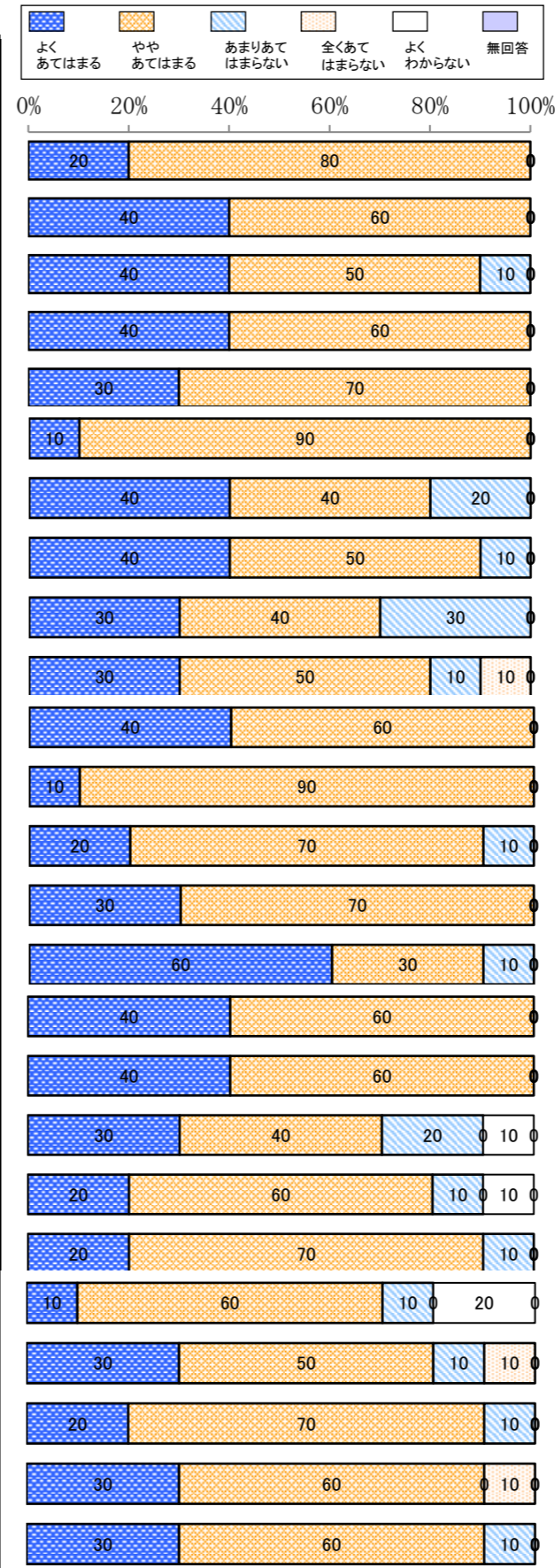


アンケートの結果			上段：生徒 下段：保護者等 グラフ：教職員					
			A	B	C	D	よく分からない	無答
学校全体の様子	1	教育目標・方針	24	56	14	1	5	0
	2	児童・生徒の様子	62	32	3	0	1	0
	3	基本的な生活習慣	50	46	3	0	0	0
	4	児童・生徒理解	27	52	14	1	5	0
	5	健康・安全・安心	45	48	4	0	3	0
学力向上の取組	6	分かる授業	27	59	11	1	2	0
	7	個に応じた指導	39	45	10	2	4	0
	8	学習習慣	31	36	25	6	2	0
	9	情報教育	56	37	6	0	0	0
	10	学校図書館の活用	19	39	35	6	1	0
社会性・人間性の育成	11	人権教育	48	46	3	0	3	0
	12	道徳教育	58	37	4	0	2	0
	13	教育相談	25	40	19	9	6	0
	14	人間関係づくり	65	29	4	1	1	0
	15	自治的な活動	42	46	6	1	5	0
保護者・地域との連携	16	情報発信	46	30	6	1	17	0
	17	相談への対応	39	41	4	1	14	0
	18	学校への参加	47	39	8	1	5	0
	19	地域との連携	20	36	30	12	2	0
	20	意見の反映	29	48	8	0	15	0
各学校の特色ある教育	21	キャリア教育	19	47	10	3	22	0
	22	学校図書館の活用	31	46	15	3	5	0
	23	I C T教育の推進	58	31	5	0	5	0
	24	学力向上	47	38	3	1	12	0
	25	ボランティア活動	30	45	9	2	14	0

無効票を除く(%)



無効票を除く(%)

学校の自己評価（考察）

目標や方針は保護者に良く理解していただいている。生徒はポイントは変わらないが高い水準を維持している。引き続き目標を意識させた教育活動を展開する。

生徒、保護者ともに9割以上が肯定的回答をしている学校生活への満足度が高いことがわかる。

生徒は昨年度も高い水準に合ったが、今年度はさらに3.1ポイント上昇した。継続して生活習慣の向上に努める。

励まし理解されていると評価した生徒、保護者ともに5ポイント増えた。さらに心のふれあいを大切に、生徒理解を図る。

生徒は100%に近い数字だが、保護者の評価が9割をわずかに割ってしまった。保護者に理解していただける努力が必要である。

保護者の肯定的意見が15.6ポイント上昇した。これはコロナが5類となり、学校公開ができるようになったため普通の授業が見られたからだと思われる。

生徒の肯定的な回答が4.1ポイント上昇した。少人数の授業が定着してきたためと思われるので引き続き個に応じた授業を推進する。

生徒の肯定的回答が2.5ポイント上昇した。補充教室やeライブラリーが定着しつつあることを示していると思われる。

生徒の肯定的回答が9割を大きく超え、I C T機器の活用が定着してきていることがわかる。今後もI C T機器の効果的な活用に向け研修を重ねる。

保護者3.4ポイント減、生徒2.7ポイント減となった。調べ学習等においてI C T機器を使う場面が多くなり、図書館の活用につながりにくくなっている。

三者とも昨年度に続いて肯定的回答が増加した。人権について機会あるごとに考えさせ、人権尊重の精神の育成を目指す。

教員の肯定的回答100%とともに生徒の肯定的回答も94.5%に及ぶ。考える道徳・議論する道徳に向け授業力向上に取り組む。

生徒、保護者の肯定的回答は昨年度より上昇している。ただ、生徒の肯定的回答が65.2%なのでさらに気軽に相談できる環境を構築していく。

保護者の肯定的回答が95.1%に達する。今後も運動会、校内ハローワーク等、工夫・改善を加え教育活動を展開する。

三者ともポイントの増加が見られる。さらに工夫を重ね、自治活動への責任ある参画態度を育てていく。

保護者の肯定的回答は昨年度から3.3ポイント増の94.2%である。学年・学級通信、HP、学校便りによる紹介等間断なく継続した結果である。

生徒の肯定的回答が昨年度より5.4ポイント増えている。さらに生徒が相談しやすい環境を作り、より丁寧な対応をする。

生徒の肯定的回答が9ポイント上昇した。コロナが5類に移行したことで学校行事が充実したためであると思われる。

保護者は地域の行事に多くの生徒が参加していると捉えているが、生徒の肯定的回答は61.2%である。今後生徒の固定化を防ぐ。

保護者の肯定的意見は、昨年度と比べ、3.3ポイント増である。開かれた学校に向け、意見等を伝えやすい環境を作る。

79.5%の保護者が肯定的な評価をしている。生徒の、社会人として求められる能力の育成に向け、取り組みを継続する。

生徒の肯定的回答が76.5%であった。昨年度に比べると増えているが全教科で積極的に学校図書館を活用した授業に取り組む。

保護者の肯定的回答はほぼ昨年度並みであった。今後もeラーニングによる学習とGoogle Classroomの意図的な活用を推進する。

寺子屋等の補充教室や各種検定受検に向けた取り組みを、保護者の90.5%が評価している。今後も、主体的に学ぶ意欲を育成する。

肯定的な回答は、生徒8.2ポイント、保護者16.6ポイント増加。生徒のボランティア活動参加へ向けた高い意欲がうかがえる。